

高
品
位
介
護

第2回

高品位介護シンポジウム

開催日：平成24年11月23日(金・祝)

開場 12:00 開会 13:00

会場：京都工芸繊維大学60周年記念館

参加費：3,000円(事前)／4,000円(当日)

懇親会参加費：3,000円(当日のみ)

基調講演

「高品位介護に関する研究の動向と今後の課題」

来田宣幸(京都工芸繊維大学大学院 准教授)

同時開催

一般講演及び介護・福祉製品展示

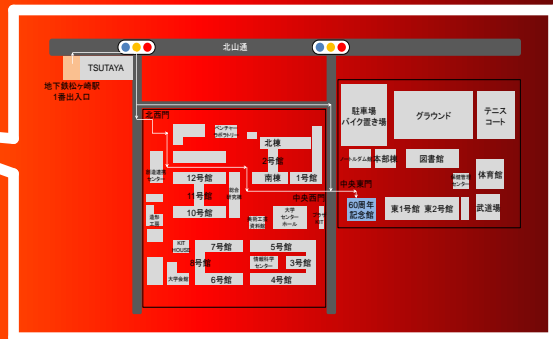
主催

京都工芸繊維大学

伝統みらい教育研究センター

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

京都市営地下鉄烏丸線松ヶ崎駅下車徒歩7分



問い合わせ

第2回高品位介護シンポジウム実行委員会

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎御所海道町 6号館2階206号室

京都工芸繊維大学 伝統みらい教育研究センター内

TEL/FAX: 075-724-7844

E-mail: mirai04@kit.ac.jp

第2回高品位介護シンポジウム開催にあたって

高齢者が多く存在する社会に突入した我が国において、介護は重要なキーワードであり、我々の生活に、そして将来に自らが抱える問題として関心が高いものである。

伝統みらい教育研究センターでは、京の匠のものづくりを知って、それを現代のものづくりに応用することを目的として、様々な解析を多くの協力を得て行ってきた。その活動の中で、得た言葉、匠の技の先に見える、製品に現れるものは、高品位であった。京の匠が産み出す工芸品は、総じて高品位製品と呼ぶことができると確信している。したがってものづくりに閉塞感の漂う日本においては、高品位製品を生み出すことが肝要であるという指針を得ることができた。

この高品位を、その他の分野に応用していこうとする活動を始めた。高品位なサービス、高品位な輸送などものづくり以外への応用を考えることとなった。その一つが介護である。高品位介護という何を想像し、何を求めることなのかの論議を長時間かけて行ってきた。一つの答えが、介護するものが疲れないこと、しかしそれを機械に頼って達成するのではなく、通常の人々の温かみが伝わる方法を維持したままに行うことであった。それらの成果の報告も踏まえて、高品位介護とは何なのか、どこを目指すのか、を多くの関係者と論議をしたい。これが本シンポジウム開催の動機である。

以上の趣旨のもと昨年度、第1回シンポジウムを開催した。介護研究における第一線の研究者らによる講演を行い、高品位介護についての活発な議論が展開され、高齢社会である日本においては、介護の高品位化は急務であることが指摘された。そこで本年度、さらなる意見の集約を図るべく、第2回シンポジウムの開催に至ったのである。介助する側、される側、双方の明るい未来を祈って。

第2回高品位介護シンポジウム実行委員長・京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター長
濱田 泰以

第2回高品位介護シンポジウム プログラム

12:00 開場

13:00 開会挨拶

第2回高品位介護シンポジウム実行委員長・京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター長
濱田 泰以

13:05 基調講演 「高品位介護に関する研究の動向と今後の課題」

京都工芸繊維大学大学院 来田 宣幸

13:45 「自立支援介護の実践」

特別養護老人ホーム アソカ園 森川 隆・矢野健吾・○石井由紀子

14:05 「高品位介護に資する浴室の考え方」

株式会社 和光製作所 西田 隆一

14:25 休憩

14:35 「移乗介助における腰痛発生の原因 ～姿勢と背筋力の関係～」

新居浜工業高等専門学校 ○吉川貴士・石川大希・伊藤龍一

14:55 「脳血管障害後遺症者の連合反応に対する介助方法の検討」

関西医療学園専門学校 弓 永久哲

15:15 「3次元動作解析を用いた理学療法士の治療効果検証に対する一考察」

山田整形外科病院 ○大桐将・山田忠尚・中村真樹・堀田祐司・前田将樹・中村菜採

京都工芸繊維大学大学院 越野 哲史・成田 智恵子

関西医療学園専門学校 弓 永久哲 京都工芸繊維大学大学院 来田 宣幸

15:35 「車椅子移乗における介護士の眼球運動解析」

大阪産業大学 ○後藤彰彦・黒木誠也・高井由佳

新居浜高等専門学校 吉川 貴士 特別養護老人ホーム アソカ園 石井由紀子

15:55 介護・福祉製品展示紹介 兼 休憩

16:25 「介護スタッフの主観的負担及び客観的負担感に関する研究」

株式会社 シティー・エステート ○山本晃嘉・松山稔・鴨居宏明

京都工芸繊維大学大学院 来田 宣幸

16:45 「高品位介護における塗り絵レクリエーション用カラー筆ペンの研究開発」

株式会社 soliton corporation 川畑 慎一郎

17:05 「高齢者の心を支えるICTシステムの開発」

京都工芸繊維大学大学院 桑原 教彰

17:25 休憩

17:35 「インターネットを利用した脳機能リハビリテーションシステムの紹介」

株式会社 コムフレンド 中野 雄司

17:55 「呉における高品位介護のためのものづくり連携」

呉工業高等専門学校 ○岩本英久 くれ産業振興センター 濱田 高義

藤原工業株式会社 藤原 吉光 呉自社商品開発推進研究会・株式会社 豊國 山路 恵司

呉工業高等専門学校 繁村 龍彦

18:15 「高齢者が元気になるものづくり老人施設の構築」

中央ビジネスグループ ○太田 智子 京都工芸繊維大学大学院 遠藤 淳司

18:35 閉会挨拶

大阪産業大学准教授 後藤 彰彦

18:40 解散

19:00 懇親会